歯科

歯科医師　　万代　とし子

診療体制

歯科は 2019 年 4 月に開設され、2022 年に 4 年目になります。診療の 8 割は病棟往診を行い、術前術後の周術期口腔機能管理、化学療法中の口腔管理を行っています（図１）。

岡山大学病院医療支援歯科治療部より非常勤歯科医師として曽我賢彦、山中亮子、吉富愛子が勤務しています。歯科衛生士は北川弥生、影山　香、橋村英津子、近藤加奈子、坂本真衣、山中望の 6 名が看護補助者として病棟の業務を兼務しながら診療のサポートを行っており、今後、歯科衛生士も新たな人員が加わる予定で、さらなる診療の充実を図る予定となっています。

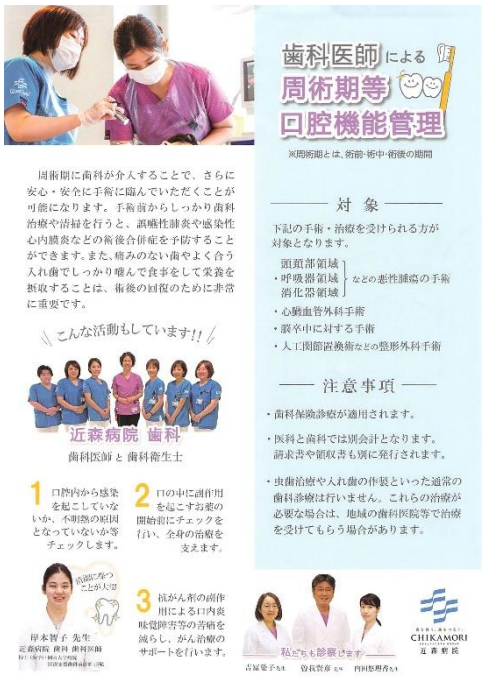

図１　院内の患者さんに向けてのポスター

診療実績

歯科の診療はすべて医科からの院内紹介により成り立っています。

術前術後の周術期口腔機能管理および化学療法の口腔機能管理の管理が主で、心臓血管外科からの心疾患の手術や呼吸器外科からの肺癌の手術、外科からの癌の手術、整形外科からの人工関節置換の手術等が適応となっており、各科より多くの口腔管理のご依頼を頂いております。その他、ビスフォスホネート製剤（顎骨壊死のリスクのある薬）開始前の口腔内評価、不明熱の口腔内感染源の精査、義歯修理、口腔ケアによる経口摂取のサポートなどを行っています。

また地域連携を重視し、必要に応じて退院後はかかりつけ歯科もしくは地域の歯科医院への診療情報提供も行っています。

入院中の口腔内評価を行い、適切な口腔管理・専門的口腔ケアを行うことにより、口腔内細菌による肺炎、敗血症の予防、化学療法中の副作用による粘膜障害の予防や粘膜炎への早期対応ができるようになりました。

歯科のこれから

2019 年に診療科としてスタートして以来、口腔管理の重要性も認知され、多くのご紹介を頂き、患者数も増えている中、たくさんのスタッフに支えられて様々な院内の医療者、患者双方のニーズと病院と地域の歯科医院との関わりをつなぐ担い手としてこれからも邁進していきま

す。